

# 令和5年度学校評価アンケート 結果と考察

鳴門市堀江南小学校

## 【児童アンケートの結果から】

### ●評価の高い項目と低い項目から 【児童アンケート結果で評価が高かった項目】

No	項目	R4(%)	R5(%)	
1	先生は、毎日の授業を分かりやすく教えてくれる。	②	100.0	100.0
5	授業中、人の話を集中して聞いている。	①②	100.0	97.0
6	宿題をきちんとしている。	②	100.0	97.1
7	グループで調べたり、話し合ったりする学習が好きである。	②	97.3	100.0
9	自分には、よいところがある。	①⑤⑥	81.0	97.0
10	先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる。	①⑤	97.3	97.1
15	先生、友だち、近所の人に進んであいさつをしている。	①	97.3	97.1
16	学級の係や当番の仕事、掃除などに、積極的に取り組んでいる。	①⑤	97.3	100.0
17	学級、学校の一員として、考えて行動している。	①⑤	89.2	100.0
19	先生は、困ったり、悩んだりしたときに、相談にのってくれる。	①②	94.6	100.0
20	学校へ行くのが楽しい。	①②	97.3	97.1
21	事故にあわないよう、いつも気をつけている。	③	97.3	100.0
22	避難訓練などは、真剣に取り組んでいる。	③	100.0	100.0
23	いじめなどはどんな理由があってもいけないことだと思う。	①	100.0	100.0
26	校外へ出て、見学したり体験したりする授業は好きだ。	①③	97.3	97.1
27	いじめや差別をなくし、人が幸せに生きるための人権学習は楽しい。	①⑤	89.2	100.0
28	授業中、自分の思っていることや考えていることを発表している。	①⑤⑥	89.2	100.0
29	作文や日記を書く力が身につけてきている。	②④⑥	72.9	97.1
30	健康や安全面に気をつけて、毎日、元気に学校生活が送れている。	③	100.0	97.1

### 【児童アンケート結果で比較的评价が低かった項目】

No	項目	R4(%)	R5(%)	
3	テストでは、思い通りの点数が取れている。	②	73.0	82.3
4	進んで運動し、体力づくりをしている。	②	94.6	82.4
18	地域の行事などに参加している。	③	70.2	76.5
24	学校や家で本をよく読んでいる。	④	62.1	70.6

- ①今年度、重点目標として取り組んだ、「教育活動全体を通じた人権教育の推進」「温かい人間関係や信頼関係に包まれた学級経営」「自尊感情の育成とポジティブな行動支援の推進」の取組の成果と考えられます。関係機関と連携した活動や地域の特性を生かした教材の使用等、学校全体で系統的な人権教育を進めることができました。また、主体的な児童の育成を目的として、学級会活動に力を入れ、自分の意見を積極的に発言できるように話し合い活動の工夫や自己有用感を高め協働して課題解決する力を育てるため、個に応じた係・当番活動などを設定しました。このような活動から「ともに認め合い支え合う仲間づくり」が進められています。
- ②昨年度より引き続き取り組んでいる、「学習規律・学習習慣の確立」も一定の成果が表れています。今後も小規模校の強みでもある「きめ細かな支援」「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を行うとともに、今年度、特に成果が得られたグループ学習を各教科で取り入れ、学び合う集団を定着させることで、すべての児童の学力向上を図っていきます。
- ③児童は、防災についてしっかりと考え、避難訓練はもちろんのこと、様々な体験活動を通して、自助の意識が高まっています。今後、フェーズフリーの観点から各教科でフェーズフリー学習を取り入れ防災意識の向上に努めていきます。また、関係機関と積極的に関わり、協力を求めながら共助の精神も養っていきます。
- ④「読書の習慣化」についての評価は、昨年度より上がってはいるもののまだまだ充分とはいえません。今年度、効果のあった地域ボランティアの読み聞かせ活動や児童による読み聞かせ等の活動は、引き続き実施していきます。また、学校図書を選定や身近に触れられる環境づくりにも力を入れていき、読書習慣を身につけることで、学力向上にもつなげていきたいと考えます。

### 【児童アンケート結果で大きく変化した項目から】

No	項目	R4(%)	R5(%)	
4	進んで運動し、体力づくりをしている。	②⑥	94.6	82.4
9	自分には、よいところがある。	①⑤⑥	81.0	97.0
14	朝は決まった時間に起きています。	②	81.0	94.1
17	学級、学校の一員として、考えて行動している。	①⑤	89.2	100.0
27	いじめや差別をなくし、人が幸せに生きるための人権学習は楽しい。	①⑤	89.2	100.0
28	授業中、自分の思っていることや考えていることを発表している。	①⑤⑥	89.2	100.0
29	作文や日記を書く力が身につけてきている。	②④⑥	72.9	97.1

- ⑤ 児童の自尊感情の向上が顕著に表れています。日々の教育活動で人権教育を基盤として、各活動に取り組んでいるため、他者と関わる中で、自己肯定感や自己有用感を実感できていると考えます。また、学校全体で取り組んでいる「ポジティブな行動支援」の効果も考えられます。少人数の利点を生かし、個に応じた目標を設定し、達成に向けて支援し、賞賛する体制を今後も継続して行っていく予定です。
- ⑥ 温かい雰囲気の中で「わかる・楽しい」授業を行っています。また、自律的に係活動などを実行している姿も見られます。学校全体でも「愛校タイム」や「発表朝会」など、児童が主体的に取り組む活動を多く行い、その成果が出ていると考えます。複式学級のメリットを生かした学級経営も進められています。今後も、児童が自分の居場所がある、温かい人間関係・信頼関係に包まれた学校づくりを継続していきます。

## 【保護者アンケートの結果から】

### ● 評価の高い項目と低い項目から

#### 【保護者アンケート結果で評価が高かった項目】

No	項目	R4(%)	R5(%)
5	学校は、子どもの学習規律の定着に熱心に取り組んでいる。 ③	100.0	93.5
26	学校は、地域の人やもの、できごとを取り入れて活動している。 ③	94.3	93.5
27	学校は人権や人権問題に関する学習に取り組んでいる。 ③	97.2	93.5
30	学校は子どもの健康面に留意し、安心・安全な環境づくりをしている。 ③	100.0	93.5

#### 【保護者アンケート結果で評価が低かった項目】

No	項目	R4(%)	R5(%)
7	子どもは、自分のいいところを理解している。 ②	80.0	64.5
15	子どもと社会や将来のことを話し合っている。 ①	62.9	61.3
19	子どもと防災のことについて、家で話し合っている。 ①	54.3	41.9
23	学校のホームページを見ている。 ③	31.4	41.9
24	子どもは、本が好きでよく読んでいる。 ②	45.7	38.8
25	子どもはテレビやゲーム、インターネットを使うルールを守っている。 ②	62.9	61.3
29	子どもは、作文や日記を書く力がついてきている。 ②	65.7	65.5

#### ① 保護者の考えや子どもとの接し方について

- 子どもの学習状況について、家庭でも確認してくれている保護者の方が多いようです。
- 防災について、家庭で話し合う機会ができるよう、保護者の方も参加できる避難訓練、防災学習を考えていきます。
- 子どもの評価と保護者の評価が、反する項目がいくつかあります。子どもの成長が保護者に伝わりやすいように保護者との連携や連絡等の在り方を見直したいと考えます。

#### ② 子どもの姿について

- 子どもに対する期待の高さが見られます。保護者の方が学校の教育に関心が高く協力的なもので、子ども自身が成長している実感ももっています。その成長を分かりやすく保護者へ伝えていけるよう取り組みを進めます。

#### ③ 学校の教育活動について

- 教育活動全般に対して好意的に受け入れられており、評価の高い項目が増えています。
- 引き続き、防災・安全教育やキャリア教育などを学校運営協議会と連携・協働しながら取り組みたいと考えます。
- 学校ホームページを見てくださる保護者の方は増えています。マチコミメールなどを活用して、更に、情報発信を進めていきます。

#### 【保護者アンケート結果で評価が大きく変化した項目】

No	項目	R4(%)	R5(%)
1	子どもは、学校の勉強に意欲的に取り組んでいる。 ②	94.3	80.6
2	子どもの学力状況はよく分かっている。 ①④	100.0	87.1
3	学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる。 ③	100.0	87.1
6	子どもは、家庭学習(宿題)をきちんとしている。 ①	97.2	83.8
7	子どもは、自分のいいところを理解している。 ②	80.0	64.5
10	子どもが粘り強く取り組めるよう、家庭でも応援している。 ①	100.0	87.1
13	子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている。 ②④	97.1	83.8
19	子どもと防災のことについて、家で話し合っている。 ①④	54.3	41.9
23	学校のホームページを見ている。 ④	31.4	41.9

#### ④ 学校・家庭・地域との連携について

- 学校ホームページや学校だよりを充実と人権学習や体験活動等の公開学習の機会を設け、児童の学校生活の様子を積極的な発信や保護者の方がわかりやすい入りやすい学校づくりを目指したいと考えます。
- 地域と連携した取組や図書委員会の読み聞かせなどの朝の読書活動の創意工夫や図書館サポーターと連携した取組を継続するとともに、学校図書の持ち帰りや図書館の利用を推奨し、児童の読書活動を推進していきます。